

日本原子力学会 第 110 回倫理委員会
議事録

1. 日 時：2019 年 3 月 14 日（木）10:00～12:40
2. 場 所：原子力機構 東京事務所 第 3 会議室
3. 出席者：大場委員長、三村副委員長、神谷幹事、伊藤委員、宇奈手委員、
金山委員、菅原委員、辻委員、中野委員、中村委員、福家委員、
藤澤委員（委員 15 名中 12 名出席）、土田特別委員、オブザーバー 北村氏
4. 資 料：
 - 倫 110-1 日本原子力学会 第 109 回倫理委員会 議事録(案)
 - 倫 110-2-1 倫理委員会活動計画
 - 倫 110-2-2 倫理委員会役割分担表
 - 倫 110-3 倫理委員会 2019 秋セッション企画案
 - 倫 110-4-1 倫理委員会 2019 年春の年会企画セッションに係る企画・準備について
 - 倫 110-4-2 倫理委員会 2019 年春の年会企画セッション 講演者予稿
 - 倫 110-5-1 最近の品質不正問題等について
 - 倫 110-5-2 最近の品質不正問題に関わる考察と倫理～原子力学会倫理規程 次回改定に向けた
論点など～
 - 倫 110-6-1 学会誌記事投稿 その 1 倫理規程制定・改定の歴史と 2018 年改定のポイント
 - 倫 110-6-2 学会誌記事投稿 その 2 原子力安全のための組織文化と倫理
 - 倫 110-7 技術倫理協議会シンポジウムについて
5. 議事概要：
 - (1) 前回議事録の確認
神谷幹事から資料 110-1 に基づき前回議事録（案）について説明があり、特に異議なく了承された。
 - (2) 倫理委員会の活動計画について
三村副委員長から資料 110-2-1 及び 110-2-2 に基づき説明があり、議論を行った。
 - ・2020 年春の年会は福島大での開催でもあるので、開催地にふさわしい内容という観点で、企画セッションの内容を議論していきたい。
 - ・「敷地内破碎帯の活動性評価」編についての倫理面からの検討については、事例集の中で扱っていくことも考えられる。
 - ・福島事故から 8 年の報道において、当時の協力会社の取組みを丁寧に取り上げていた番組があり、「人の行動」という観点で考えていかねばならない点がある。
 - ・倫理委員会はまだまだ頑張らないといけない委員会で、やることがあると思う。会員が各組織に持ち帰って活用しやすいアウトプットを出していきたい。
 - ・主要な賛助会員からは引き続き委員を出してもらおうように働きかけていくことも必要。

(3) 2019年秋の大会での企画セッションについて

資料 110-3 に基づき菅原委員から説明があり、テーマ案 1「福島事故時の個人被ばく線量データの取扱いに係る論文問題」と、テーマ案 2「新規技術に直面する倫理」の 2 案について議論を行った。議論の結果、案 2 で検討を進めていくこととし、引き続き内容、講師選定等の検討を行っていくこととした。主な議論は以下のとおり。

- ・新規技術については原子力とも関係があり、本倫理委員会が取り上げる価値がある。
- ・AI など原子力発電所の技術に導入されようとしている取組みもあり、原子力や社会との関係性も含めて議論できるのではないか。
- ・講師に関しては、秋の大会が富山大での開催なので、北陸地方の大学で適任の方をお願いできるとよい。
- ・案 1 については、個人や個人データの尊厳、研究の社会的価値、論文発表にいたるプロセスなど、倫理面で検討すべき観点がある。
- ・今回の問題では、当該論文発表者の所属大学の倫理委員会の機能、役割についての論点もある。
- ・秋の大会では案 2 を選定するにしても、案 1 については、研究会などで取り上げていくことを検討してもよいのではないか。

(4) 2019年春の年会企画セッションについて

三村副委員長から資料 110-4-1、神谷幹事から資料 110-5-1 および 110-5-2 に基づき説明があり、議論を行った。

- ・講演者との意見交換のための懇親会は前日 21 日に行う。当日は、午前のプログラム終了後、会場内で昼食をとりながら最終打合せを行うこととする。
- ・開会の挨拶は座長である大場委員長、閉会の挨拶は土田特別委員とする。
- ・会場アンケートには、次回倫理規程改定に向けた意見を求める Q を追加する。
- ・神谷幹事からの講演は、現案を 2 分割して、奥山氏の講演の後に倫理規程の意義やまとめをプレゼンし、総合討論に繋げる流れとする。修正したプレゼン資料は、委員会内でメールベースで確認することとする。

(5) 学会誌への委員会活動報告の作成状況について

宇奈手委員から資料 110-6-1（投稿その 1）、福家委員から資料 110-6-2（投稿その 2）に基づき、学会誌への投稿に係る状況について説明があった。

- ・その 1 については、3 月頭までに編集委員会への提出済である。
- ・その 2 については、担当である福家委員と中野委員で最終的な体裁を整えて、委員会内の最終レビューを 3 月末までに進めていくこととする。原稿に記載する執筆担当は、福家委員と中野委員とする。

(6) 技術倫理協議会シンポジウムについて

中野委員から資料 110-7 に基づき、2019 年度の技術倫理協議会シンポジウムが「これからの技術倫理～責任ある技術の実践と研究開発～」を仮テーマとして、12 月 9 日に開催予定であるとの紹介があった。各団体からテーマや講演者の提案をして欲しいとのことで、次回委員会

も引き続き議論していくこととした。

(7) その他

- ・金山委員から、INSS 編著の「安全文化をつくる 新たな行動の実践」が近日発刊となる旨の紹介があった。
- ・宇奈手委員が今年度で委員を退任することの報告と、退任の挨拶があった。

6. 次 回：

第 111 回 日時 2019 年 4 月 17 日（水）13:30～17:00

場所については調整の上、連絡することとした。

以上